



# 田川地区平和センター

鶴岡市泉町8番57号 メール:tagawachiku-heiwa@sound.ocn.ne.jp URL https://ta-heiwa.com/

編集発行  
田川地区平和運動推進  
労働組合センター教宣部

## 総定期会

### 田川地区平和センター第32回定期総会開催される

#### 鶴岡市学校給食直営堅持をはじめ全議案が賛成多数で承認！

##### 「第32回定期総会」

##### 開催される

田川地区平和センター第32回定期総会は、12月6日鶴岡市勤労者会館において開催されました。

幹事会を代表して荒井議長は、1年間の平和センターへの取り組みのお礼述べた後、「衆議院選挙の結果自公政権は議席の過半数をわり、改憲発議の3分の2もなくなり、改憲発議ができなくなった。しかし、石破首相は改憲に前向きであり、国民民主党・維新も改憲勢力で、油断はできない。24春闘で賃上げが5%超えたが、物価上昇で実質賃金はマイナスで、国民は物価高に苦しんでいる。国民が安心して暮らせる社会の創造が求められる。」

議長挨拶 荒井滋平和センター議長



また、来年は知事選挙をはじめ各種選挙がある。選挙に勝利し、安心して暮らせる社会を実現するために平和センターへの結集をお願いします」と挨拶しました。

来賓は、園部公雄県平和センター事務局長、高梨祥太連合地協議長、皆川治鶴岡市長、高橋淳県議、今野美奈子県議、工藤博・南波純・遠藤初子鶴岡市議、村山剛啓労金支店長の9人でした。

また、芳賀道也・舟山やすえ参議院議員、沖繩中部地区労はじめ全国地区労に参加する仲間、県内の各地区平和センターより連帯のメッセージがありました。

総会では、「鶴岡市学校給食直営堅持の運動方針」をはじめ全議案が原案通り、挙手多数や満場一致で承認されました。

### 田川地区平和センター 2025年度役員体制 よろしくお願いします

議長	荒井 滋	(庄内ユニオン)
副議長	船見 信一	(県職連合)
〃	木村 知弘	(県教組)
事務局長	本間 悟	(全水道)
事務局次長	林 達也	(庄内町職労)
幹事	齋藤 義人	(鶴岡市職労)
〃	白幡 新	(高教組)
〃	佐々木 秀行	(庄内町職労)
〃	中塚 友美	(県職連合)
〃	佐々木 啓太	(労金労組)
会計監査	石山 栄彦	(県教組)
〃	中川 理香子	(労金労組)

鶴岡市長 皆川 治 様

鶴岡市学校給食直営堅持を求める要請書

要請項目

1. 鶴岡市は、学校給食発祥の地の伝統を守り、ユネスコ食文化創造都市の誇りをもち学校給食の直営を堅持すること。

2024年11月27日

田川地区学校給食を守る市民会議

(鶴岡市泉町8-57 平和センター内)

代表委員

田川地区平和センター議長	荒井 滋	印
教職員組合田川地区支部長	齋藤 秀隆	印
連合山形鶴岡田川地域協議会議長	高梨 祥太	印
田川地区退職者連合会長	小泉 信三	印

##### 鶴岡市学校給食センター直営堅持を求め、

##### 皆川治鶴岡市長、布川敦教育長に要請

田川地区平和センター等で構成する田川地区学校給食を守る市民会議は(平和センター・県教組・連合鶴岡田川地協・田川地区退職者連合)は、11月27日、鶴岡市役所を訪れ、新鶴岡市学校給食の直営堅持を求め、要請書を提出しました。

今年の1月30日にも、新鶴岡市学校給食センター建設にあたり、学校や調理部門等関係者の意見を徴収して建設にあたるよう要請していました。

今回は、鶴岡市がPFI方式などの民間活力の導入も含め検討していることにに対し、「学校給食発祥地の伝統」等を考慮し、「調理部門の直営堅持」を求めました。市民団体と連携して直営堅持を求めて取り組みます。



本間事務局長は皆川市長に、高梨議長は布川教育長に要請書を提出しました。

《東北労働金庫鶴岡支店》  
生活応援バンク 鶴岡市末広町1-12  
TEL22-3147  
労働者のための、ふれ愛バンクです

こくみん共済 coop <全労済>  
共 済 シ ョ ッ プ 鶴 岡  
鶴 岡 市 泉 町 8-73 TEL 23-6100  
全国労働者共済生活協同組合連合会

いつまでも住みつづけられるまちづくりをめざして！  
生活協同組合 共立社  
COOP 本部 鶴岡市宝田一丁目3-23  
TEL0235-22-5110 FAX23-9148